

【アーチェリー】 世界選手権

第50回世界アーチェリー選手権が6月8日から16日までオランダで開催され、日本代表として園田さんが出場しました。

43ヶ国から152名が出場して行われた個人戦ランキングラウンド(予選)では、園田さんは“これまでの試合と全く違う景色で、体がガタガタ震えた”とのことでした。そのため得点も思ったようには伸びず、652点で予想した得点を10点近く下回る結果となりました。決勝ラウンドに入り、落ち着きを取り戻し、安定した撃ち方で1回・2回戦を突破しました。ベスト16入りをかけた3回戦では4対6と惜しくも敗れ、17位という結果に終わりました。

また、3名で戦う団体戦は、初戦でロシアに敗れ、9位でした。世界選手権初出場の園田さんにとって、東京オリンピック出場権がかかる大会で異常なまでの緊張感を体験することができたことは、貴重な経験となりました。



【世界選手権初出場の園田さん】

【ボート】 フランスジュニア選手権

日本ボート協会(以下「NF」)の海外育成モデル事業として行われた2019年フランスジュニア選手権(事前合宿含む)に中條君と瀬川さんが参加しました。

この事業は、ナショナルスポーツディレクターのギザヴィエ氏が推奨するフランス式トレーニングについて、フランスジュニア選手とトレーニングする中、品質の高いプログラムを展開し今後の競技力向上につなげるものとするを目的としています。

今年、中條君は5月6日に出発、瀬川さんは5月13日に出発し、6月11日までという長期に渡ってトレーニングや試合に出場しました。また、その期間の殆どは地元のエギュベレットローイングクラブに所属し、クラブのメンバー宅にホームステイをしながらこの大会に向けてトレーニングしてきました。二人は長期間の海

外合宿を通じて、競技だけでなく、フランスの文化などに触れる中で、心身共に大きく成長することができました。

《中條君感想》

「初の一ヶ月を越える遠征を終え、自分自身技術はもちろん、様々な面で成長できたなど実感しています。日本が取り入れている、フランス式トレーニング



を本場で体験し、その練習の重要性、必要性を改めて実感することが出来ました。今回はフランス選手権に参加し総合8位と納得いく結果ではありませんでしたが目標を達成するために、必ず生きてくるものだったと思います。今回の経験を今後の競技生活に活かしていきます。」

《瀬川さん感想》



「私はこの一ヶ月間で競技力はもちろん、精神面も成長させることができました。初めてのスイープ、エイトでしたがチームのみんなが教えてくれて強く長く漕ぐことができました。

また、英語での会話でしたが、しっかり聞き取り、言いたいことをいう事ができました。とても素晴らしい環境で貴重な経験をさせていただいた事に感謝の気持ちを忘れず、もっともっと強くなります。学んだ事をしっかり活かしていきたいです。」

【EA修了生】 ユニバーシアード

番号	競技名	氏名	エリートアカデミー修了年度	所属
1	卓球	酒井 明日翔	2014年	シチズン時計㈱
2	フェンシング (フルール)	永野 雄大	2016年	中央大学
3	フェンシング (フルール)	安部 慶輝	2014年	秋田緑ヶ丘病院
4	フェンシング (サブル)	清水 紀宏	2015年	日本大学
5	フェンシング (サブル)	星野 剣斗	2015年	法政大学
6	フェンシング (フルール)	森 千紬	2015年	日本大学
7	フェンシング (サブル)	脇田 樹魅	2017年	日本女子体育大学
8	フェンシング (サブル)	月野 敬子	2018年	法政大学
9	ライフル射撃	清水 彰人	2017年	West Virginia University

7月3日から7月14日までイタリアのナポリで開催される第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)の日本代表選手としてJOCエリートアカデミー修了生9名が出場します。

ユニバーシアードは国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する、学生(注)を対象にした国際総合競技大会で、1959年にイタリア・トリノで第1回夏季大会が開催されました。2年ごとに開催され、毎年奇数年に開催されています。

(注)大学卒業後2年間は出場資格あり

【教育プログラム】

調理実習

第1回栄養教育が6月23日の16時からSAKURA Diningホールで行われました。この活動は、教育プログラム(単発型)の一環として毎年行っているもので、今回は18名の高校生が、「いわしの照焼」、「ほうれん草のお浸し」、「具沢山味噌汁」、「白玉団子」の4つのメニューで調理実習を行いました。

今回、初めて日本食に挑戦しましたが、“魚の下ろし方”などの説明を受けながら、真剣に取り組んでいました。その後、18時から自分たちで作った料理の出来栄を、舌で味わいながら、楽しみました。

調理を指導した小野上プロダクションチーフからは、次のような感想が届きました。『デモンストレーション中は真剣に話を聞き、実習中はみんなで協力し合いながら楽しく作業をしているのがとても印象に残った。たとえ失敗してしまったとしても、そこであきらめるのではなくどうすればいいのかを直接、聞きにくる姿勢があって、真面目でとても素晴らしい選手達だと思った。私自身、エリートアカデミー生と密な時間を過ごすことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。今後は野菜の切り方など基本的な部分についてもっと深く知ってもらうことで、より料理に興味を持ってもらえるのではないかなと思う。』

今回の経験を活かし、さらに食事(調理)についての興味関心が高まることを期待しています。



【その他】

稲付中学校

稲付中学校には現在8名(1年生:2名、2年生:5名、3年生:1名)のアカデミー生が在籍しています。年間で最も大きな行事で運動会と新築校舎落成式典が開催されました。

《運動会》

6月1日に運動会が行われました。運動会スローガン『前人未踏の頂へ ~新たな歴史を刻む瞬間~』達成に向け、素晴らしい活動が展開されました。また、新築された校舎での初めての運動会であり、数多くの保護者や地域の方々が応援に駆け付けました。

プログラムは、午前8種目、午後7種目が行われ、その中で特に注目されたのは、「稲中X」と名付けられた種目です。この種目は例年行われている障害物競走ですが、障害はエリートアカデミー実施競技(卓球、レスリング、フェンシング)を中心としたオリンピック実施競技の動きを模しています。下の写真は、その競技の様で、競技はフェンシングで、生徒はレスリングの吉田アリア君(1年生)です。

また、演技だけでなく、係活動などにも頑張っているアカデミー生の姿が見られました。



【稲中Xに参加する吉田君】

《新校舎落成記念式典》

6月15日、新校舎落成記念式典(落成式、祝賀会)が開催されました。新校舎は2014年末から約4年をかけ、今年3月に完成しました。落成式では、来賓あいさつの後、在校生の挨拶や校歌斉唱が行われました。

その後の祝賀会には200名以上の方々が出席されていました。出席していた同窓会、行政関、自治会、PTAなどの関係者の方々も、アカデミー生の活躍を非常に喜んでいました。

今回の式典に通じて、地域からの注目度や期待度の高さを再認識するとともに、学校との関係を更に深めて行くことの必要性を感じました。

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。

<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>